

令和4年度 調布市立第七中学校 指導計画・評価計画表 【3年生 理科】 指導者名：前田 洸、新沼 周子

観点 1 知識・理解 2 思考・判断・表現 3 主体的に学習に取り組む態度

指導単元	観点	単元の評価規準（学習評価表）	具体的評価規準（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
共通	3	- 授業に積極的に参加し、授業の内容を正しく振り返ることができている。 - ノートや観察プリント、実験プリントなどに主体的に取り組むことができている。	- 既知の事実や身近な事象と関連付け、これから学ぶ内容について、まとめたりして表現できる。 - 観察や実験を意欲的に行い、観察プリント・実験プリントにまとめることができる。	- 授業中の発言、行動 - ノート、ワーク - レポート	- 振り返りシート - 指導
単元Ⅰ 運動とエネルギー	2 1	- 力が合成したり分解したりすることを理解し、作図で示すことができる。 - 水中の物体に加わる力について理解している。 - 運動の「速さと時間」「移動距離と時間」の関係を見つけることができる。 - 物体に力がはたらく時とはたらかない時の運動のようすを道筋立てて考えることができる。 - エネルギーが移動したり変換したりすることを見つけることができる。 - 仕事について数量で示すことができる。	- 定規を使い、正確な作図ができる。 - 浮力と水圧について説明できる。 - 運動の「速さと時間」「移動距離と時間」の関係を計算によって求めることができる。	- 提出物 - 実験観察レポート - 単元テスト - 定期考査	- ノート指導 - レポート指導
	1	落下運動や等速運動のようすを、記録タイマーを用いて調べることができる。	運動の「速さと時間」「移動距離と時間」の関係をグラフで表すことができる。		

	1	・力がはたらく運動では速さや運動の向きが変わることを理解し、知識を身につけている。 ・慣性や慣性の法則を理解し、知識を身につけている。 ・エネルギーの移り変わりやエネルギーの保存について理解し、知識を身につけている。	・記録されたテープからその運動を理解し、グラフを作ることができる。 ・慣性や慣性の法則を説明できる。 ・エネルギーの移り変わりを説明できる。		
単元 2 生命のつながり	2	・細胞の観察を通して、植物細胞と動物細胞の共通点や相違点、細胞分裂の過程を科学的に捉えることができる。	・植物細胞と動物細胞の共通点や相違点を説明できる。	・提出物 ・実験観察 レポート ・単元テスト ・定期考査	・ノート指導 ・レポート指導
	1	・細胞のプレパラートをつくり、顕微鏡を操作して細胞の特徴を観察することができる。	・細胞のプレパラートをつくり、顕微鏡で細胞の特徴を観察・スケッチできる。		
	1	・遺伝子によって親の形質が子に伝えられるしくみを理解その知識を身につけている。 ・減数分裂と体細胞分裂、有性生殖と無性生殖の違いを理解し、知識を身につけている。	・遺伝子によって、親の形質が子に伝えられるしくみを説明できる。 ・減数分裂と体細胞分裂、有性生殖と無性生殖の違いを説明できる。		
単元 3 自然界のつながり	2	・食物連鎖と生物のつり合いを科学的に捉えることができる。 ・物質の循環と太陽エネルギーを関連づけて捉えられる。 ・人間生活と環境問題を関連づけて捉えることができる。	・生物は食物連鎖によってつながり、数量を保っていることを理解している。 ・すべてのエネルギーは太陽がもとになっていることを理解している。	・提出物 ・実験観察 レポート ・単元テスト ・定期考査	・ノート指導 ・レポート指導
	1	・土の中の微小生物について理解している。	・自然界の循環について土の中の微小動物が役に立っていることを理解している。		

単元 4 水溶液と イオン	2	・電解質と非電解質の違いについて理解できる。 ・電流が流れるしくみをモデルで説明することができる。	・電流を流す水溶液 と流さない水溶液があることを実験で確かめることができる。 ・正確な実験操作ができる。	・提出物 ・実験観察 レポート ・単元テスト ・定期考査	・ノート指導 ・レポート指導
	1	・化学変化をイオンの概念で説明できるようにする。 ・イオンのでき方について理解できる。 ・中和反応がイオンの反応であることが理解できる。 ・薬品や実験器具を正しく扱うことができる。	・イオン記号を用いて電離式が書ける。 ・周期表からどんなイオンになるか説明できる。 ・目的に合った実験操作ができる。		
単元 5 地球と宇宙	2	・太陽や星の日周運動を科学的に捉えることができる。 ・星の年周運動を科学的に捉えることができる。 ・地軸のかたむきと季節の変化を関連づけて捉えることができる。 ・太陽系や宇宙の広がりについて考えることができる。	・太陽や星の年周運動はみかけの運動であることを地球の公転と関連づけて考えることができる。 ・季節による昼夜の長さや太陽の南中高度の変化を地軸のかたむきと関連づけて考えることができる。	・提出物 ・実験観察 レポート ・単元テスト ・定期考査	・ノート指導 ・レポート指導
	1	・太陽の日周運動を説明することができる。 ・星の日周運動や年周運動説明することができる。	・太陽の1日の動きを、透明半球を使って説明することができる。 ・星の日周運動や四季の星座の移り変わりを天球や地球儀などを使って説明することが		
	1	・太陽や星の日周運動について知識を身につけている。 ・星の年周運動について知識を身につけている。 ・季節の変化について知識を身につけている。 ・太陽系の天体について知識を身につけている。	・太陽や星の日周運動と地球の自転の関係について理解している。 ・星の年周運動と地球の公転の関係について理解している。 ・季節の変化は、地球の公転と地球の地軸のかたむきが原因であることを理解している。 ・太陽系の構造や天体の特徴について理解している。		

単元 6 地球の明るい 未来のために	2	・災害と環境問題の因果関係を分析して、自らの考えをまとめることができる。	・過去に起こった災害と現代の環境問題の因果関係を調べ、自らの考えをレポートにまとめることができる。	・提出物 ・実験観察 レポート	・ノート指導 ・レポート指導
	1	・食物連鎖と生物のつり合いについて知識を身につけている。 ・物質の循環とエネルギーについて知識を身につけている。 ・人間生活と自然環境とのかかわりについて理解している。	・食物連鎖と生物の数量や有機物が無機物に分解される過程を理解している。 ・人間は自然の恩恵を受けて生活している	・単元テスト ・定期考査	
3 年間の復習	1	・3年間の理科の知識が身に付いている。		・課題プリント ・確認テスト	・未提出物連絡